

武道館報



武道を通じた人間教育について

県営武道館長 小原 博

武道館長という職を拝命している関係からか、武道関係者と懇談すると、あなたは、何の武道をやっているのかと聞かれることがある。

私は、武道経験者ではない。とは言うものの、今まで全く武道種目を行ったことがないというわけではなく、小学生の頃に自宅近くの警察学校で開催していた柔道教室に2年程通った経験と、中学校と高校の体育の授業で柔道をやった程度の柔道経験はある。しかしながら、この程度の柔道経験をもって武道経験者というのはおこがましいという思いがあり、あなたの武道経験はと問われると、つつい武道経験者ではありませんと答えてしまうのである。

柔道に限らず、武道は「礼には始まり礼に終わる」といわれるように、武道は「礼」というものを最重要視しているようである。記憶が定かではないが、小学生当時に私が通った警察学校の柔道教室においても、指導していただいた先生から、随分、礼儀についての指導を受けたような気がする。

さて、平成10年12月の中学校改訂学習指導要領の解説において、「武道のよさ」について、「我が国の伝統文化である武道を、学校における体育学習の内容として重視していくことは、我が国の伝統文化や伝統を尊重する観点のもとより、これからの国際社会において、世界に生きる日本人を育成していく立場からも

有意義なことである。」と武道を通じた人間教育の効果に言及している。一部に反対論があるにせよ、武道教育が人間形成に好影響を与えているということは、多くの国民の共感を得ているものと思われる。

また、昨年、4月に日本武道協議会の会長に就任された高村正彦会長は、その就任挨拶の中で、「平成24年度から全国1万余校の中学校1・2年生で武道が必修化されました。50年後、100年後には日本国民全員が武道経験者になるわけでありまして、「礼に始まり礼に終わる」武道の特性を生かした授業の確立は急務であります。大過ないだけでは成功とは言えず、仏を作ったわけですから魂を入れる必要があります。」と述べられている。

私の年齢では、中学校武道必修化により50年後、100年後の日本がどのように変化したかを検証することは不可能であるが、目前の2020年には、2度目となる東京オリンピック・パラリンピック開催が迫っている。

来るべき東京オリンピック・パラリンピックにおいては、競技スポーツとしての武道に関わっている人のみならず、これまでの長い歴史の中で培われてきた日本の伝統文化の素晴らしさを国内外に示し、好成績とともに、日本の素晴らしさが海外から賞賛されるような大会になってほしいと願っている。

地域社会武道指導者研修会

★少林寺拳法 5月12日(土)～13日(日)

会場 岩手県営武道館 大道場 柔道場 参加者56名

中央講師 秋 吉 好 美 氏 大範士八段 (一般財団法人少林寺拳法連盟)

合 田 雅 彦 氏 正範士七段 (一般財団法人少林寺拳法連盟)

地元講師 岡 部 好 孝 氏 正範士八段 (岩手県少林寺拳法連盟)

中 川 景 季 氏 准範士六段 (岩手県少林寺拳法連盟)

少林寺拳法の指導者、愛好者を対象とした、地域社会少林寺拳法指導者研修会が開催されました。参加者の皆さんには、今回の研修の成果を基本として、更なる技能向上・指導力向上に向けてご精進いただき、それぞれの活動地域において、少林寺拳法に取り組む青少年や少林寺拳法愛好者等の指導・育成につなげていっていただきたいと思います。



[参加者の感想]

盛岡北道院 小原 巧久

今回、私が指導者研修会の主管を担当し7回目の研修会でした。

秋吉先生は、現在開祖の数少ない直弟子の先生であり、鋭く正確な技と、昨今の形骸化しつつある技と違い本当の少林寺拳法の技をご教授いただき、目から鱗が落ちる場面が何度もありました。

合田先生は、高い技術力、圧倒的なパワー、中学校の校長先生を3校も勤め上げた頭脳、ユーモアあふれる話術、どれをとっても一級品で感激しました。他の受講生も先生方の凄さ、素晴らしさに感激しておりました。

このような機会を与えていただいた日本武道館並びに岩手県営武道館の皆様に深く感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

岩手大学 小田 大翔

今年の指導者講習会は、これまでの認識を塗り替えられるような貴重で重要な体験となりました。

級拳士では基本を行ってききましたが、有段者となると無駄を削ること、一つの技に対して一つの要素だけでなく、違う技法からのアプローチをすることなどにより洗練され、実用的な技術を修練するという認識に改められました。

剛法においては、練反攻は、これまで反撃をするという認識だけで、相手に受けられない攻撃をするという認識はありませんでした。よくよく考えてみれば、必要不可欠な要素であると思いました。

柔法では、ある技法への成立条件が不十分状態でのほかの技法への転換、ある技法を一つの方法ではなく、他の技法からの理を応用する多角的なアプローチで成立させるなど、この機会ですべての「破」、「離」の片鱗を垣間見ることができた重要な機会だと感じました。

また、これからも、このことを意識し、修練に励みたいと思います。

自主事業

★弓道教室 5月11日(金)～6月11日(月)

[毎週月曜日・金曜日 全 10 回開催]

会場 岩手県営武道館 弓道場 参加者 23名

参加対象 中学生以上の初心者・初級者・中級者

講師 高橋 良子 氏 教士七段 (盛岡市弓道協会会長)

他 11 名

弓道教室終了後もが引き続き弓道が続けたいとの申し出が寄せられ、武道教室に6名の新規入会がありました。



[参加者の感想]

- ・丁寧な指導と和やかな雰囲気が最高でした。
- ・短い時間の中、わかりやすい指導と内容の濃い教室でした。
- ・初心に戻れてとてもよかったです。弓道場に入ってからの方が勉強になりました。
- ・全く初めての経験でしたが、念願の弓道に触れる機会に恵まれ、感謝しています。

・この度は、このような素敵な機会を与えていただき、本当にありがとうございました。熱心にご指導して下さった先生方のお陰で、弓道がこんなに素晴らしいものだと思えることができました。充実の10日間でした。



武道教室

★武道教室「少林寺拳法」の皆さんによる清掃活動[平成30年5月13日(日)]

武道教室「少林寺拳法」の生徒及び保護者の皆さんによるボランティア清掃活動が行われました。この取り組みは、少林寺拳法の創始者である宗道臣先生の命日である5月12日を開祖デーとして、毎年、全国的に社会奉仕活動として行われているものです。

当武道教室の皆さんには、毎年5月に武道館周辺のゴミ拾いや草取りをしていただいています。

武道教室[少林寺拳法]の生徒の皆さん、保護者の皆さん、ありがとうございました。



岩手県営武道館主要行事予定(7月～9月)

7 月	1日	岩手県(盛岡市)地方青少年なぎなた錬成大会 第70回岩手県民体育大会 弓道競技(成年の部) 第70回岩手県民体育大会 相撲競技(成年の部)
	3日	高等学校保健体育指導者研修会
	7日	第29回知事杯争奪学童相撲大会
	7日～8日	第65回岩手県中学校総合体育大会 柔道競技 国体最終選考会少年の部(弓道)
	14日～15日	第6回東北少年少女空手道選手権大会
	16日	第65回岩手県中学校総合体育大会 相撲競技 第32回岩手県女子弓道大会
	19日	岩手県警察柔道・剣道大会
	21日～22日	岩手県(盛岡市)地域社会合気道指導者研修会 スポーツひのまるキッズ柔道親子合宿2018
	22日	太極拳1級技能検定事前講習会(前期) 岩手県弓道連盟公認資格認定講習会兼伝達講習会
	28日	岩手県下剣道選手権大会(少年・少女)
29日	岩手県下剣道選手権大会男子全日本予選会	
8 月	4日	いわてスーパーキッズ8月体力測定
	5日	第33回岩手県防犯少年柔道錬成大会 太極拳1級技能検定試験(前期)
	6日	第10回岩手県高等学校遠的選手権大会
	10日～12日	第28回東北地区高等学校弓道強化錬成会
	11日	剣道段位審査会
	12日	岩手県相撲選手権大会
	18日～19日	知事杯争奪第57回岩手県下少年剣道大会 少年柔道教室
25日	第51回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会	
26日	第30回岩手県長寿体育祭太極拳交流大会	
9 月 一 部 の み 掲 載	1日	盛岡地区昇段審査会・形講習会(柔道)
	2日	第35回少林寺拳法岩手県大会 第30回岩手県民長寿体育祭剣道交流大会 岩手県学童相撲大会
		第47回岩手県教職員弓道大会
	4日	高等学校保健体育指導者研修会

編集後記



環境美化運動の一環として、今年もプランターに花苗を植えて道場入口付近の構内に設置しました。これから彩やボリューム感が増してくると思いますので、武道館に来館の折には、是非ご覧いただき、心を癒していただきたいと思います。(H)

(公財) 岩手県スポーツ振興事業団

岩手県営武道館

〒020-0122 岩手県盛岡市みたち 3-24-1

TEL 019-641-4577 FAX 019-641-4559

URL <http://www.echna.ne.jp/~kenei1/>

Mail keneibudokan@echna.ne.jp